

●リーグ戦2回戦
合同 21対24 清水南

●5位決定戦（不戦勝）
合同 0対0 科学技術

○第103回全国高校ラグビー静岡大会
合同（沼工・桐陽・静岡・焼津水産・浜松学芸）

●1回戦
合同 14対34 科学技術

○第35回静岡県高等学校バドミントン選手権大会
東部地区予選会
(1年初心者の部)
5位 小和田雅斗

○第35回静岡県高等学校バドミントン選手権大会
(1年初心者の部)
ベスト16 小和田雅斗

○令和5年度静岡県高等学校新人バドミントン大会
東部地区予選会
(団体の部)

第10位 沼津工業高校
(県大会出場)
(個人の部) 1年男子ダブルス
第16位 小和田雅斗・黒澤壯心
(個人の部) 1年男子シングルス
第3位 小和田雅斗

○令和5年度静岡県高等学校新人バドミントン大会
(団体の部)
1回戦出場沼津工業高校
1回戦出場 小和田雅斗・黒澤壯心
(個人の部) 1年男子シングルス
ベスト8 小和田雅斗

剣道部

◎ 静岡県高等学校総合体育大会

東部地区大会

男子団体 6位

県大会出場

東部地区大会

男子団体 11位

県大会出場

女子個人 寺本咲輝 3位

◎ 第37回中部高校選抜競漕大会
（10月21・22日 愛知池漕艇場）
シングルスカル 勝手付クオードブル
（小出・武田・窪田・古屋・有泉）
（松本・石川・野村・平井・渡邊）
5位、6位
廣瀬 4位

◎WRO Japan 2023 決勝大会
 ROBO Mission エキス
 パート競技 シニア部門 出場
 (L2 浦田智希 L2 江本和希 L2 菊池哲平)
 2023年 ロボットアイデア甲子園

静岡県中東部大会

○敢闘賞 (U2菊池慶樹)

○令和5年度高校生善行 千本賞 表彰

○青少年表彰制度 表彰

○高校生情報・探求コンテスト

○令和5年度高校生善行
○青少年表彰制度 千本賞

○高校生情報・探求コンテスト 奨励賞

「産学官連携による自動運転バス実証 実験」

（）工業高校生によるデジタルサイネージとバス停モデルの製作（）

テクノクリエイション部

○第31回令和5年度静岡県高校生 決勝トーナメント進出 ベスト16

ロボット競技大会

クノラリー

100V クーラークラス 出場

3V クーラークラス 出場

○令和5年度第27回スター・リング部門

クノラリー

○令和5年度第31回静岡県高校生 工コラン大会

燃料電池自動車部門

電気自動車部門

準優勝 第6位入賞

●第71回静岡県高等学校総合体育大会
(5月27・28日 佐鳴湖漕艇場)
シングルスカル 3位
舵手付クオドブル
(小出・西片・武田・佐々木・勝又)
●第70回東海高等学校総合体育大会
(6月17・18日佐鳴湖漕艇)
シングルスカル 廣瀬 5位
●第78回国民体育大会
(9月21・24日 灯北特設ボート場)
ダブルスカル 廣瀬 出場
●令和5年度静岡県新人体育大会
2次予選
(10月7・8日 佐鳴湖漕艇場)
シングルスカル 廣瀬 2位
ダブルスカル 佐々木・朝倉 5位

○令和5年度静岡県高等学校新人レスリング大会
92kg級 佐藤大誠 3位

○全国選抜レスリング大会
東海地区予選会
92kg級 佐藤大誠 ベスト8

○第50回沼津市芸術祭合奏部門参加
吹奏楽部

○2023年度沼工祭ボスター作成
2023年度八重原表紙作成

出発前

今年度は、5月8日以降新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類となりマスク着用も任意となつたこともあり、今年度は問題なく9月に実施するということでの準備を進め、生徒たちも旅行当日を心待ちにしていました。しかし、9月初旬になつて新型コロナウイルスに感染する生徒が続出し、2年生で学級閉鎖となるクラスも出てしまいました。

ただ、予定どおり実施という当初の方針は変わらず、学級閉鎖となつたクラスも早めに対応措置を

2年生170名は、令和5年9月12日(火)～15日(金)の3泊4日で長崎・福岡方面へ修学旅行に行つてまいりました。その旅行記を以下に綴らせていただきます。

令和5年度 修学旅行記

校長 望月 保宏

令和5年9月12日(火)

とつたため、直前には欠席する生徒もほんんどいなくなり、前日に無事荷物も積み込んで、出発の態勢が整いました。

修学旅行初日は、沼津駅北口に6時45分集合ということで普段より1時間以上早い集合時間でした。が、当日体調不良で行けなくなつた生徒を除く全員が時間内に集合することができました。

バスは予定どおり7時に沼津駅北口を出発し、神奈川県内の東名高速道路が事故渋滞という情報が入り一時焦りましたが、運転手さんの機転で渋滞を回避することができ、予定より30分ほど遅れたものの無事羽田空港に到着。空港ロビーで出発式を行い、予定どおり10時55分羽田発のANA663便に搭乗し、昼食をとりながら1時間半余りの空の旅を楽しんだ後、無事12時50分頃に長崎空港に到着しました。

1日目の長崎での研修は平和学習でした。先ず原爆資料館のホールで被爆者の三瀬清一朗さん(88歳)の被爆体験講話を聴いた後資料館を見学し、原爆の被害の恐ろしさについて学びました。三瀬さんの講話では、原爆投下当日の長



崎の様子や投下直後の惨状がまるでつい最近起つたことのように生々しく語られ、資料館の見学とともに生徒たちには核兵器の恐ろしさを知る良い機会になつたのではないかと思ひます。その後平和公園の平和祈念像の前でクラスごと記念撮影をしました。平和祈念像は愛と仏の慈悲を象徴した像で、頭上に伸ばした右手は原爆の脅威を、横に伸ばした左手は平和を、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈つてゐるといわれています。像の大きさとそのポーズに心を奪われた生徒も多かつたようです。像の前で一同平和への誓いを新たにし、長崎が地球上で核兵器による最後の被爆地になることを祈りました。

1日目の研修はこれで終わり、バスで宿泊地の「ホテルニユータンダ」に向かいました。ホテルに着いたら大きな荷物を受け取つて各部屋に入り、間もなく宴会場にて夕食となりました。全員で夕食をいただいた後は1時間ほど班別の自由時間となり、点呼の後22時に消灯・就寝、ようやく長い1日が終わりました。

令和5年9月13日(水)
2日目は6時30分に起床、7時



午後は個人的に出島のオランダ商館跡、長崎歴史文化博物館、大浦天主堂、グラバー園を見て回りましたが、所々で研修中の生徒たちと出くわす場面があり、残暑厳しい中で、彼らが概ねしつかりと長崎市内の班別研修を行つている

午後は個人的に出島のオランダ商館跡、長崎歴史文化博物館、大浦天主堂、グラバー園を見て回りましたが、所々で研修中の生徒たちと出くわす場面があり、残暑厳しい中で、彼らが概ねしつかりと長崎市内の班別研修を行つている様子が見受けられました。

出島のオランダ商館跡は20年ほど前訪れた際には発掘調査を行つていきましたが、きれいに整備された「博物館」的な感じで見学できるようになつております。

生徒たちは全員20時までにはホテルに戻り、大きな事故等もなく無事2日目を終えることができました。

私は午前中、50名ほどの生徒に同行して「軍艦島ツアーナー」に参加させていただきました。軍艦島(端島)は高島などとともに明治時代三井によって開発された海底炭鉱を採炭する基地として人工的に開発された島で、「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産にも登録されています。ツアーナーは8時30分に長崎港をクルーズ船にて出港し、途中高島に寄つて資料館等を見学した後軍艦島に上陸しました。同



人が暮らしており、約50年の時を経てほぼ廃墟となつた「現代の遺跡」を目の当たりにすることができ、生徒たちも我々引率教員も本当に感激しました。既に建物内は崩壊が進んでおり立ち入ることはできず、今後産業遺産として整備・保存していくことの必要性を痛感しました。

この日は夕食も班別で自由に、といふことで、長崎ちゃんぽんや皿うどんなど御当地の名物を味わつた生徒が多かつたようです。私も他の先生方と一緒に夕食(私はこの時は皿うどんをいただきました)をとさせていただきましたが、やはり本場の味、大変美味しかったです。

生徒たちは全員20時までにはホテルに戻り、大きな事故等もなく無事2日目を終えることができました。

世界遺産に登録されている明治時代のカントリークレーンや戦艦「武

本部のビルで説明を受けた後、バスで構内を見学して回りましたが、

いただき、午前中は三菱長崎造船所、午後はハウステンボスを見学しました。三菱長崎造船所は最初

私は機械科の生徒に同行させて

いただき、朝方は激しい雷雨があ

り長崎市近辺に線状降水帯が追つ

ていて、朝方には大雨も一

応收まり、全クラス無事ホテルを

出発することができました。

令和5年9月14日(木)

3日目も6時30分に起床、7時に朝食をとった後、クラスごとにバスに分乗し、途中研修をしながら長崎をあとにして福岡方面に向かいました。朝方は激しい雷雨があり長崎市近辺に線状降水帯が追つていて、朝方には大雨も一応收まり、全クラス無事ホテルを出発することができました。



令和5年9月15日(金)

修学旅行最終日の朝はやはり6時30分に起床、7時前後にバイキング形式の朝食をとった後、全員バスで太宰府天満宮に向かいました。太宰府天満宮は本殿が現在修理中でしたが、生徒たちは進路実現を願つて熱心に参拝をしていました。参道には土産物店も多く、最後の買い物に夢中になっている生徒も多くみられました。

昼食は博多駅に向かう途中の「はねや総本家」で鍋料理をいただきました。会場ではU2の担任の千葉先生、副担任の渡邊先生の軽妙な「コント」(?)も披露され、楽しく昼食をとることができました。

昼食後、バスで12時30分頃に博多駅に到着。13時15分博多発の「のぞみ32号」で福岡に別れを告げ、新神戸で「ひかり514号」に乗り換え、一路三島駅を目指しました。



た。ゴール目前の静岡駅で大雨で新幹線がストップするアクシデントがあり、最後の焦りを感じましたが、30分遅れで何とか運転再開しました。夕食後再びバスに乘つて、19時に博多のホテル「モントレ福岡」に到着。デラックスなホテルで修学旅行最後の夜を過ごしました。

「ルシティ」で夕食をとりました。生徒たちは豚骨ラーメンやもつ鍋など博多名物の味に舌鼓を打つていました。(私はもつ鍋をいたしました)。

夕食後再びバスに乘つて、19時

に博多のホテル「モントレ福岡」に到着。デラックスなホテルで修学旅行最後の夜を過ごしました。

無事三島駅に到着しました。

天候や交通事情など一部ヒヤリとした瞬間もあつた修学旅行でしたが、若干の軽症の体調不良者を除き生徒たちは概ね健康で、予定されていた研修の日程を終えることができました。保護者の皆様におかれましては、事前の準備や当日の送迎など色々と御協力いただき、ありがとうございました。運

くになりましたが厚く御礼申し上げます。



機械科

科長 高木 行博

年度当初、人事異動により新しく佐藤先生、高山先生の二名の先生方を迎えて、月からスタートいたしました。機械科では、機械技術を体系的に学び我が国のもとのづくりを支える人材を育てています。今年度は工業技術基礎の内容にマシンングセンタを取り入れ、本校の一年生全員がNCC工作機械の概要を学習しました。また、科分け後の内容には、鋳造やスターリングエンジンの分解組立を取り入れました。百二十九ページの教材を教職員が分担して夏休みに手作りで対応しました。

工業科

だより

これは、教職員の技術向上の研修の観点でも有益がありました。

ものづくりには人間性が重視され、精密な技術は精密な人間から生まれます。

社会に出てから生徒が困らないように、機械科では挨拶や言葉遣いには日々厳しく指導しております。

九月からは、一年生が学科選択により専門科目の学習を始めました。機械技術に興味関心を持つて意欲的に学習することにより工業技術者を目指して一步一歩前進しています。

二年生は夏休みにガス溶接技能講習を受けました。十月にはインターーンシップに取り組み、将来設計や職業適性、学習の意義の再確認をする機会となりました。発表会を実施し、各社の概要や体験内容を共有化できました。

三年生は、体育祭に向けて応援席作りアーチ(大きな絵のパネル)製作や、文化祭での金属折り鶴の製作体験会に向けての準備に協力的に取り組みました。また、十二月には自主的に全校生徒の希望者対象に金属折り鶴の製作体験会を実施しました。発表会を実施し、各社の概要や体験内容を共有化できました。

三年生は、体育祭に向けて応援席作りアーチ(大きな絵のパネル)製作や、文

化祭での金属折り鶴の製作体験会に向けての準備に協力的に取り組みました。また、十二月には自主的に全校生徒の希望者対象に金属折り鶴の製作体験会を実施しました。発表会を実施し、各社の概要や体験内容を共有化できました。

三年生は、

</div

が合格。二次（技能）試験には一次試験をパスした二十四人が受験しました。まだ現時点では発表されていないため最終合格はわかりませんが、受験者全員が手応えあつとの報告があり発表が楽しみです。そして、現三年生は昨年度既に十人の生徒が第一種の試験に合格しており、近年になく多くの合格者が出ています。

第一種電気工事士資格はキュービックなどの高圧受電設備を有する建物、たとえば学校、病院、工場、コンビニ、ホテルなどの電気工事においては必要となるものです。将来的にそのような就職先や電気工事関係への進路を考えている生徒は是非チャレンジし取得してもらいたいです。

今年度の電気工事において最も注目すべきことといえば沼工体育祭ではないでしょうか。応援の部で一位、アーチの三位、そして総合の部で優勝。体育祭の競技に出席した生徒、電気科全員の応援、そして夏休み前から三年生が中心となつて描いたアーチ。総合優勝できたのは、電気科の生徒一人一人が全力で頑張った結果です。三年生は進路に向けての準備で忙しい中、よくやつたと思います。一年生は今年の三年生の姿をよく見ていたと思いません。来年の体育祭も是非連覇できることを期待しています。

電子ロボット科

科長 渡邊 亨



技術を活かしたものづくりは決して簡単なことではありませんので、引き続き本学科の教育に取り入れて参りますが、最先端技術を意識しておおよそ三年ごとに実習等を見直していく必要があると考えます。

本学科は就職後、進学後に必要な電子系、通信系、情報系などの技術を学ぶ学科です。ロボット・パソコン・電子機器・プログラミング・インターネットなど、生徒個々で興味関心も様々です。三年間すべての分野を網羅することはなかなか難しいことですが、三年生を見ていると各分野の横断的な繋がりは意識できています。もちろん各学習活動において一分野を深く掘り下げるのも大事なことです。生徒自身が興味を持つた分野の学習をサポートしていくことが私たち教職員の役目と考えております。

今年度の本学科生徒の様子を一月上旬現在でお知らせいたします。括り募集で

入学した一年生のうち、四十名が電子口ボット科一年（L1）に所属し、「電気回路」を週六時間学んでいます。この教科では次年度の電子回路、通信技術等の教科や資格試験に対応し、電気電子の技術者に必要な知識が習得できます。そのほか、「工業情報数理」にて基礎的情報技術を学び、「情報技術検定一级」（全工協主催）を受験します。L1の生徒たちは担任の山田幸宏先生（電子ロボット科）から学習へ向かう姿勢などを御指導いただき、本学科の生徒らしく育つてきましたところです。

二年生（L2）は「工事担任者第二級デジタル通信」で十二月から一月の期間で受験いたします。工事担任者は、電話回線やインターネット回線の接続及び配線工事、または監督するための資格で、ネット社会にはないへん重要な資格です。今年度中に四十名全員合格が見込まれます。また、一月以降は次の資格取得に向けて勉強が始まります。クラスは昨年に引き続き、堀本小奈津先生（国語科）に担任として御指導をいただき、現在は就職進学試験に向けて日々力を蓄えております。

三年生（L3）は担任の川嶋誠子先生（英語科）に進路指導をしていただきました。就職希望二十三名が県内外の大手企業や技術力の高い地元企業様から内定をいただきました。進学に関しましても十三名が大学、うち国公立大学に三名が合格しました。大学は国公立大学が静岡大学、長岡技術科学大学、私立大学が日本大学、神奈川大学、常葉大学、神奈川工科大学、大東文化大学、静岡理工科大学、東京工科大学に合格しました。他、専門学校等に4名合格をいたしています。資格取得では、業務において無線設備の操作、メンテナンス・修理が可能となる第二級陸上特殊無線技士に三十五名、工事担任者アノグー級に十五名が合格しました。

これら電化製品にもAIの技術が取り入れられ、数年後にはスタンダードになっていくことが予想されます。IoT

で堀井一男先生が定年退職を迎えるまで、永きに渡り、建築科を支えて下さいました。今年度は非常勤講師として引き続き建築科を支えて下っています。非常に心強いです。また、本校定期制から異動された阿部正幸先生をお迎えして七人体制で新たなスタートを切りました。

一年生は二十八名が建築科として九月から新たなスタートを切りました。担任の久保田晋先生は体育保健科でサッカー部顧問です。日頃から細やかな指導を展開して下さっています。学習内容は、専門教科の学習が加わり、製図を中心に行なっています。授業の様子ですが、落ち着いた雰囲気の中、集中して取り組む姿勢がみられます。九月には沼津建設業協会様の御協力により、現場見学を実施することができます。初めて見る建設現場に、どの生徒も目を輝かせているのが印象的でした。

二年生の担任は、昨年度に引き続き吉田健二先生です。厳しさと同時に温かさ

2024 東海地区大会において、平田伯さんがBasic Class 一位、梅原司さんが同五位、小林楓賀さんがAdvanced Class 十九位、鈴木惺也さんがCamera Class 入賞しました。平田さん・小林さん・鈴木さんは12/27・28に長野県松本市で開催された全国大会に出場しました。

地域社会に貢献できる人材を送り出すため、また生徒たちに新時代に即した教育を提供できるよう、私たち電子ロボット教職員一同、より一層の努力をしてまいります。保護者の皆様、地元企業の皆様、本学科OB関係者の皆様には、引き続き御支援賜りますようお願い申し上げます。

建築科

科長 上田久美子

本年度の建築科は、三月末の人事異動で堀井一男先生が定年退職を迎えるまで、永きに渡り、建築科を支えて下さいました。今年度は非常勤講師として引き続き建築科を支えて下っています。非常に心強いです。また、本校定期制から異動された阿部正幸先生をお迎えして七人体制で新たなスタートを切りました。

一年生は二十八名が建築科として九月から新たなスタートを切りました。担任の久保田晋先生は体育保健科でサッカー部顧問です。日頃から細やかな指導を展開して下さっています。学習内容は、専門教科の学習が加わり、製図を中心に行なっています。授業の様子ですが、落ち着いた雰囲気の中、集中して取り組む姿勢がみられます。九月には沼津建設業協会様の御協力により、現場見学を実施することができます。初めて見る建設現場に、どの生徒も目を輝かせているのが印象的でした。

二年生の担任は、昨年度に引き続き吉田健二先生です。厳しさと同時に温かさ



も持っています。生徒に対してもいつも真剣に向き合って下さっております。二年生は九月に修学旅行、十月下旬にはインターンシップや沼工祭と忙しいスケジュールでしたが、どの行事も実施することができます。インターナンシップでは、現場監督の仕事を体験し、すぐ先にある進路選択の参考になつたのではないかと思ひます。また、授業では測量実習で地元企業様とコラボして授業を展開しました。生徒達は業界の魅力や仕事の実態をリアルに感じることができたと思います。

三年生は、一年次から継続して千葉健寛先生が指導して下さっております。進路指導においては、生徒達一人ひとりと真摯に向き合い、将来に向けた適切なアドバイスを提供しております。きめ細かな指導のおかげで三年生は進路先が決定しております。進路の内訳ですが、

都市環境工学科

科長 鈴木 康政

コロナ禍を経験し、縮小や中止をしてきた学校行事ができるようになり、また新しいスタイルになつて始まつたものもありました。学校という集団生活をする場で、人とのつながりを大切にしなければいけないと、深く考えるきっかけになりました。この場を借りて日頃の学科の行事について、私自身の思いや願いを書かせてもらいます。

さすがだと驚かされたのはU3生徒た

がフルバージョンで開催されました。アーチ部は夏休みから準備が行われ、アーチ部門で一位を獲得することができました。応援は、応援団が真剣に応援の内容を考え、自らが手本となり後輩達に指導しました。全力で取り組み、建築科をまとめることができました。どの場面でも、生き生きとした表情で、ひとりひとりが責任を持ち真剣に取り組む事ができました。

次年度も今年度の経験を活かし、この良き伝統を継承してもらいたいと思います。今後とも保護者の皆様の御理解、建設業界を生徒に知つてもらうために、次年度も地域と連携し、社会に開いた建築科にしたいと考えております。また、保護者の皆様や地域の皆様にも、建築科ではどのような学習を進めているのか知つてもらえる機会を増やしていくたらと思います。

次年度も今年度の経験を活かし、この良き伝統を継承してもらいたいと思います。今後とも保護者の皆様の御理解、建設業界を生徒に知つてもらうために、次年度も地域と連携し、社会に開いた建築科にしたいと考えております。また、保護者の皆様や地域の皆様にも、建築科ではどのような学習を進めているのか知つてもらえる機会を増やしていくたらと思います。

今年度は四年ぶりに制限がない沼工祭がフルバージョンで開催されました。アーチ部は夏休みから準備が行われ、アーチ部門で一位を獲得することができました。応援は、応援団が真剣に応援の内容を考え、自らが手本となり後輩達に指導しました。全力で取り組み、建築科をまとめることができました。どの場面でも、生き生きとした表情で、ひとりひとりが責任を持ち真剣に取り組む事ができました。

次年度も今年度の経験を活かし、この良き伝統を継承してもらいたいと思います。今後とも保護者の皆様の御理解、建設業界を生徒に知つてもらうために、次年度も地域と連携し、社会に開いた建築科にしたいと考えております。また、保護者の皆様や地域の皆様にも、建築科ではどのような学習を進めているのか知つてもらえる機会を増やしていくたらと思います。

会社の方や現場の方から直接教わるのでも、普段聞けない最新の技術や業界の動向なども知ることができます。高校生として接しますので、積極的に生徒の方から動いてください。自分が豊かになると思います。

最後にU1生徒に言いたいことがあります。1年生は八月末にクラス替えがあり、U1となりました。都市環境工学科の専門科目も学習しています。スタートラインではクラス全員が一緒ですので、全員が同じペースで進んでもらいたいと望みます。高校の教員は中学校の先生とは違い、手取り足取り細かく指導をしてくれません。高校生として接しますので、積極的に生徒の方から動いてください。自分が豊かになると思います。

高校生活は3年間、仕事に従事するのではなく、高校生として接しますので、積極的に生徒の方から動いてください。自分が豊かになると思います。



県の代表として出場します。

また同じく一月、浜松で県内工業高校生対象の生徒研究発表会が行われました。U3の鈴木恒輝が参加をし、「おが粉とシュレッダーゲストの活用法の検討」という題材を発表しました。沼工の代表者として緊張することなく、立派に発表してくれました。

最後にU1生徒に言いたいことがあります。1年生は八月末にクラス替えがあり、U1となりました。都市環境工学科の専門科目も学習しています。スタートラインではクラス全員が一緒ですので、全員が同じペースで進んでもらいたいと望みます。高校の教員は中学校の先生とは違い、手取り足取り細かく指導をしてくれません。高校生として接しますので、積極的に生徒の方から動いてください。自分が豊かになると思います。

「雑感」

事務長 越水 敏昭

沼工に着任し三年目を間もなく終えます。この間、施設・設備に起因する大きな事故も無く、無事過ごすことができました。沼工の施設・設備は老朽化が著しく、日々の学校生活で不自由する場面が散見されますが、この事に関しては、定期的に県教育委員会の所管課に予算要望するとともに、機会あるごとに県に働きかけてまいりました。そのような中、予てから要望していたグラウンド防球ネット設置と体育館の外壁改修の設計が本年度行われましたので、これらの工事については、早ければ来年度に施行されることがあります。

さて、私事ですが、十月中旬につまらない事で片足を骨折しました。十日間程度松葉杖で、その後一ヶ月半程度の間、ギブスで固定しての生活となりました。骨折や松葉杖は初めてのことです。慣れるまでは著しく不自由な生活を強いられ、ちょっととした段差や階段の昇降、朝の洗面、着替え、トイレ、入浴等、日常生活で何気なく

やれりいたことがとても大変なこととなりました。また、仕事をする上でも、当初は事務室からほとんど移動できず、書類を回覧する際も、周りの職員に助けてもらひながら仕事をし、迷惑を掛けながら過ごしておりました。私は間もなく60歳になりますが、もう少し年を取つてこのよななことになつたら、松葉杖の操作も儘ならず、車椅子での移動となり、自宅での生活が出来ず、暫くハビリ病院に入院。その後、社会復帰に大変なエネルギーを費やすことになるのではないかと想像しました。

皆さんの中にも骨折等を経験し、過信することなく、慎重に行動しき我をしないよう注意していただければと思います。

最後になりますが、PTAの皆様には、PTA活動への御理解、御協力をいただき、また、会を通じて部活動用備品や図書館用図書の整備充実、各種模擬試験等の運営に感謝いたします。引き続き、お願いいたします。

事務局だより

令和五年度、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わり五月八日から「五類感染症」となりました。それに伴い、様々な活動が再開されることとなりましたが、以前のままとはいが、新しい形を模索する中でのPTA活動となりました。

そんな中ではあります、四月にPTA入会式にて新会員様を無事迎えることができました。続いて五月にはPTA総会を対面形式で開催できました。御協力ありがとうございました。そこでございました。

県総会は悪天候の中、校長先生に参加していただきました。また、沼駿地区研修会、東海大会、全国大会には会長様をはじめ会員の皆様に、臨機応変に対応していただきました。ありがとうございました。

六月後半に予定していた地区総会も自由実施とし、お子様の様子や学校についての情報交換など実りある地区会を四地区で行うことになりました。沼工祭では、新しい形の模擬店を企画・運営し、七人十人を超える会員の皆様に生徒の喜ぶ顔を見る以上に楽しんで参加していただきました。PTA研修会ではリニアモーターカーを間近で見学し、校長先生を始めとする

普段交流のない先生方と学校を離れ和気あいあいと触れ合う姿に、よい思い出を残すことができました。

伝統を踏まえつつ今できることを念頭に、沼津工業高校を盛り上げていく土台となる新たなPTAの活動が実施できることを切に願つて次期PTA会長様を中心には役員様、会員の皆様の御協力をよろしくお願ひいたします。

PTA事務局・書記

山本 恵

編集後記

今回のPTA会報の発行にはお忙しい中大勢の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。この号が皆様にお手元に届く頃には、三年生は卒業を迎えます。今年度は、新校舎での沼工祭が開催となりました。全てが同じ、とはいかなまでも工夫を凝らして成功出来たことは、改めても沼工の底力を感じさせられました。

今後とも学校行事や学校運営に皆様のご協力を賜りたく存じますのでよろしくお願いします。

印 刷 発行者 令和6年2月29日
PTA会報担当一同
沼津市立沼津工業高等学校
沼津市下香貫八重二二九一
P.T.A事務局
九六七一六一五五

印 刷 發行者 令和6年2月29日
PTA会報担当一同
沼津市立沼津工業高等学校
沼津市下香貫八重二二九一
P.T.A事務局
九六七一六一五五